平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年4月25日

上場会社名　B-R サーティワン アイスクリーム株式会社　　上場取引所　大
コード番号　2268　　URL　http://www.31ice.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）尾崎　仙次
問合せ先責任者（役職名）常務取締役管理本部長　（氏名）渡辺　裕明　TEL 03-3449-0331
四半期報告書提出予定日　平成24年5月10日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年12月期第1四半期の業績（平成24年1月1日～平成24年3月31日）

(1) 経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	3,646	11.3	192	18.1	202	16.3	112	488.1
23年12月期第1四半期	3,275	△1.0	163	△56.5	174	△54.2	19	△91.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	11.65	—
23年12月期第1四半期	1.98	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第1四半期	13,552	9,836	72.6
23年12月期	14,600	10,092	69.1

（参考）自己資本　24年12月期第1四半期　9,836百万円　23年12月期　10,092百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	40.00	—	40.00	80.00
24年12月期	—				
24年12月期（予想）		40.00	—	40.00	80.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年12月期の業績予想（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

（%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,430	8.4	700	6.0	700	2.6	380	42.2	39.44
通期	21,650	7.9	3,050	4.8	3,100	4.0	1,720	12.2	178.50

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

（注）詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報（その他）に関する事項 （1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期1Q	9,644,554 株	23年12月期	9,644,554 株
② 期末自己株式数	24年12月期1Q	8,561 株	23年12月期	8,561 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期1Q	9,635,993 株	23年12月期1Q	9,636,030 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 4
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
（３）追加情報 …… 4
３．四半期財務諸表 …… 5
（１）四半期貸借対照表 …… 5
（２）四半期損益計算書 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第１四半期累計期間（平成24年１月～３月）における我が国経済は、企業の設備投資や雇用情勢に緩やかな持ち直しの動きが見られるなど、東日本大震災後の厳しい経済環境からは回復基調にあるものの、デフレの影響、長引く電力供給不安、消費税率引き上げ・年金制度改革の議論に加え、欧州金融不安の継続等によって、景気の先行きは依然不透明な状況となっています。また個人消費につきましても依然として生活防衛意識や節約志向が続いており、外食産業は厳しい状況下にあります。

このような環境の下で、当社ではサーティワンアイスクリームの永遠の経営モットーであります“We make people happy.”「アイスクリームを通じて人々に幸せを。」をスローガンに、全てのお客様に高品質で美味しいアイスクリームと“ＦＵＮ”に満ちたひとときを提供し、日本で最も愛され親しまれるチェーンとなることを目指すとともに、企業の継続的成長の維持と、企業価値の増大に努めてまいりました。

営業面においては、１月はアイスクリームの詰め合せ商品であるバラエティパックをお買い上げのお客様に、‘スヌーピー’グラスをプレゼントするプロモーション（１月１日～１月22日）を実施し、フレーバーのバラエティさ・楽しさを訴え、高単価商品の拡販とヘビーユーザーの再来店を促進いたしました。

２月には 「ハッピーバレンタイン」（１月23日～２月14日）として、期間限定の新商品デコポップシューやハート型アイスクリームケーキ“ハートオンハート”、バレンタイン仕様のフレッシュストロベリーサンデーやハッピードール、バレンタインに因んだアイスクリーム４種類（ラブインベリー、キューピッドハート、ラブストラックチーズケーキ、ラブポーションサーティワン）を発売するとともに、店頭店内をバレンタイン一色に飾りつけ、消費者の購買意欲を高めました。

３月の「ひなまつり」（２月15日～３月３日）では、“ひなだんかざり”、“おひなさまカップ”、“苺おひなさまカップ”や、ひなまつり仕様のアイスクリームケーキなど期間限定商品を強化し、オケージョン商戦の売上を確保いたしました。

また、季節に合った苺の美味しさをたっぷり味わえる“フレッシュストロベリーサンデー”フェア（３月４日～３月23日）を実施し、アイスクリーム専門店にしかできないサーティワンならではのシーズンサンデーを提供することにより、ブランドの差別化を図りました。

そして３月24日からは、昨年初めて実施し大好評を得た「ワンダフルイースター」（３月24日～４月22日）を今年も実施し、イースターらしいタマゴをモチーフにしたエッグカップサンデーや持帰り商品のイースターバラエティBOX、イースターに因んだアイスクリーム２種類（イースターエッグハント、チョコバナナ）を期間限定販売しております。

店舗開発の状況といたしましては、2009年から新しいロゴの看板と店舗デザイン「Hip Hop」を導入し、店舗イメージ刷新を図っております。新しい店舗は当期13店開設し、当第１四半期末の店舗数は1,095店舗と前第１四半期末に対して43店舗増加いたしました。改装は当期21店実施し、既存店へも新しい店舗デザインの導入促進をいたしました。

以上の結果、当第１四半期の売上高は36億46百万円(前年同期比11.3%増)と、東日本大震災の影響を受けた前年同期に比べ大幅な増加となりました。

また、売上原価は売上高の増加に伴い14億35百万円(前年同期比13.7%増)となっております。

販売費及び一般管理費は、20億18百万円（前年同期比9.1%増）となりました。主な増加要因は、業容の拡大による人員増及び直営店舗数の増に伴う人件費の増加(40百万円)と、売上の増加に伴う物量増

による物流費の増加(35百万円）及び、昨年４月より「アイスクリーム・ケーキ」に導入したディズニー・キャラクターのロイヤルティなど広告宣伝費の増加（17百万円）であります。

この結果、営業利益１億92百万円(前年同期比18.1%増)、経常利益２億２百万円(前年同期比16.3%増)となりました。

また四半期純利益は１億12百万円(前年同期比488.1%増)となりました。前年同期の特別損失には、東日本大震災で発生した店舗設備・製品等の損失(64百万円)、フランチャイジーへの見舞金（52百万円）、及び「資産除去債務に関する会計基準」の適用に伴う費用（26百万円）を計上いたしましたので、前年同期比では大幅な増益となっております。

なお、当社はアイスクリーム製品の製造及び販売等を行う単一セグメントのため、セグメント情報の記載を省略しております。

（２）財政状態に関する定性的情報

当第１四半期末における総資産は前事業年度末に比べ10億47百万円減少の135億52百万円となりました。これは主に、配当金の支払と法人税等の支払により現金及び預金が減少したこと、及び12月と３月の売上ボリュームの差等により売掛金が減少したことによるものであります。負債は前事業年度末に比べ７億91百万円減少の37億16百万円となりました。これは主に販売奨励金の支払による未払金の減少と、法人税等の支払による未払法人税等の減少によるものであります。純資産は前事業年度末に比べ２億55百万円減少の98億36百万円となりました。これは主に四半期純利益を剰余金の配当額が上回ったため、繰越利益剰余金が減少したことによるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成24年２月６日に公表いたしました「平成23年12月期　決算短信（非連結）」の業績予想より変更はありません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当事業年度の予想税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（３）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第１四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年12月31日）	当第１四半期会計期間 （平成24年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,239,687	2,868,946
売掛金	3,045,929	1,975,810
製品	640,353	712,832
原材料	335,519	513,284
貯蔵品	218,569	150,386
前渡金	11,871	29,264
前払費用	134,707	179,233
繰延税金資産	93,748	82,982
未収入金	28,062	42,593
その他	30,457	53,010
貸倒引当金	△10,304	△12,769
流動資産合計	7,768,602	6,595,574
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,522,471	1,859,196
減価償却累計額	△1,092,515	△1,102,644
建物（純額）	429,955	756,552
構築物	195,248	195,248
減価償却累計額	△156,970	△157,653
構築物（純額）	38,278	37,594
機械及び装置	2,052,109	2,052,109
減価償却累計額	△1,589,977	△1,606,733
機械及び装置（純額）	462,132	445,375
賃貸店舗用設備	2,881,849	2,928,801
減価償却累計額	△1,520,945	△1,552,431
賃貸店舗用設備(純額)	1,360,903	1,376,370
直営店舗用設備	313,768	338,499
減価償却累計額	△97,065	△108,054
直営店舗用設備(純額)	216,703	230,445
車両運搬具	37,294	37,294
減価償却累計額	△18,751	△19,626
車両運搬具（純額）	18,542	17,667
工具、器具及び備品	655,795	658,377
減価償却累計額	△470,297	△486,292
工具、器具及び備品（純額）	185,498	172,085
土地	695,362	695,362
建設仮勘定	268,230	78,110
有形固定資産合計	3,675,607	3,809,563

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年12月31日）	当第１四半期会計期間 （平成24年３月31日）
無形固定資産		
ソフトウエア	194,889	197,103
電話加入権	17,065	17,065
無形固定資産合計	211,954	214,168
投資その他の資産		
投資有価証券	24,949	27,988
従業員に対する長期貸付金	12,013	11,817
破産更生債権等	236,615	253,650
長期前払費用	530,922	492,173
繰延税金資産	132,961	132,020
敷金及び保証金	2,080,835	2,101,234
その他	19,685	19,685
貸倒引当金	△93,470	△105,056
投資その他の資産合計	2,944,512	2,933,515
固定資産合計	6,832,074	6,957,248
資産合計	14,600,677	13,552,822
負債の部		
流動負債		
買掛金	529,888	539,478
未払金	1,210,192	937,841
未払費用	27,477	31,315
未払法人税等	566,660	92,058
未払消費税等	37,509	910
前受金	540,768	474,272
預り金	106,009	133,670
賞与引当金	32,571	89,733
役員賞与引当金	17,000	2,000
その他	59,489	21,811
流動負債合計	3,127,566	2,323,092
固定負債		
退職給付引当金	143,012	148,313
役員退職慰労引当金	65,400	68,400
資産除去債務	73,261	77,094
長期預り保証金	1,099,228	1,099,668
固定負債合計	1,380,902	1,393,476
負債合計	4,508,469	3,716,568

（単位：千円）

	前事業年度 （平成23年12月31日）	当第１四半期会計期間 （平成24年３月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,286	735,286
資本剰余金		
資本準備金	241,079	241,079
資本剰余金合計	241,079	241,079
利益剰余金		
利益準備金	168,676	168,676
その他利益剰余金		
別途積立金	4,140,000	4,140,000
繰越利益剰余金	4,836,010	4,562,871
利益剰余金合計	9,144,687	8,871,548
自己株式	△16,893	△16,893
株主資本合計	10,104,159	9,831,019
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△833	666
繰延ヘッジ損益	△11,117	4,567
評価・換算差額等合計	△11,951	5,233
純資産合計	10,092,207	9,836,253
負債純資産合計	14,600,677	13,552,822

（２）四半期損益計算書

【第１四半期累計期間】

（単位：千円）

	前第１四半期累計期間 （自 平成23年１月１日 至 平成23年３月31日）	当第１四半期累計期間 （自 平成24年１月１日 至 平成24年３月31日）
売上高	3,275,519	3,646,231
売上原価	1,262,752	1,435,368
売上総利益	2,012,767	2,210,863
販売費及び一般管理費	1,849,638	2,018,229
営業利益	163,128	192,634
営業外収益		
受取利息	141	100
店舗用什器売却益	16,125	12,921
その他	2,008	2,296
営業外収益合計	18,275	15,318
営業外費用		
店舗設備除去損	6,154	4,377
その他	818	797
営業外費用合計	6,973	5,174
経常利益	174,430	202,777
特別利益		
貸倒引当金戻入額	7,370	－
特別利益合計	7,370	－
特別損失		
固定資産売却損	－	1,110
固定資産廃棄損	4,811	48
災害損失	116,941	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	26,009	－
特別損失合計	147,762	1,159
税引前四半期純利益	34,038	201,618
法人税等	14,944	89,318
四半期純利益	19,094	112,300

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。